

教育委員会だより

いそぎく

発行日 平成21年3月1日
 編集・発行 葉山町教育委員会教育総務課
 〒240-0112 三浦郡葉山町堀内2050-9
 TEL. 046(876)1111
 FAX. 046(876)1861

第230号

葉山町小・中学校作品

平成二十一年二月六日(金)～八日(日)の三日間、葉山町教育総合センターの二階学びの広場(立体部門)と葉山町福祉文化会館大会議室(絵画部門)の二会場において、葉山町小・中学校作品展が開催されました。

- 作品の内容は、
- ・ 図画工作科、美術科の学習で制作した作品
 - ・ 国語科の学習で制作した作品
 - ・ 家庭科、技術家庭科の学習で制作した作品
 - ・ クラブ活動、部活動等で制作した作品
 - ・ その他、自主的に制作した作品です。



「くつの彫刻」(南郷中学校)

【出品数】

学校名	絵画	立体	硬筆・毛筆等	合計
葉山小学校	560	190	37	787
上山口小学校	124	29	0	153
長柄小学校	193	179	0	372
一色小学校	249	83	96	428
葉山中学校	329	200	4	533
南郷中学校	80	263	75	418
			総計	2,691



「楽しい毛筆」(一色小学校)



「日常着」(葉山中学校)

3日間の入場者数

児童・生徒……1728人
 成人……… 992人 合計 2720人



「よくみてかいたよ!」(葉山小学校)



「いもほり」(上山口小学校)



「さあ、大男のいすであそぼう」(長柄小学校)

人の温もりと自然の息吹から

一色小学校長 今井利典

下山口にお住まいの青木克己さんから田んぼをお借りして、子どもたちが「田植え」「稲刈り」「お餅つき」をさせて頂けるようになってから十七年が経とうとしています。当初は一部の学年が青木さんのお世話により体験をしていましたが、今では全校の子どもたちが行い、本校の欠くことのできない学校行事になっています。ぬるぬる田んぼに足を取られ、思うように植えつけられなかった苗を心配そうに見ていた一年生が、毎年の経験を通して、実に鮮やかな田植えの経験を通して、六年生になります。「稲刈り」や「お餅つき」も同様ですが、子どもたち一人ひとりにとっては年に一度の半時間の経験が六年間積み重なることによって、土の感触や温かなお餅の粘りけとともに確実な原体験になっていきます。子どもたちが親しみを込めて『青木さんの田んぼ』と呼ぶその場所は、一・二年の生活科や三年生の総合学習フィールドでもあります。春の若葉に覆われた山々に囲まれ、レンゲの花が盛りの田んぼに始まる四季折々の変化は、机上の学習では培うことのできない感性を育ててくれます。

また、御用邸付近の磯を四年生の総合学習フィールドとしています。三年生が山に囲まれた田んぼから一年をか

けて調べたい学習課題を設定するように、四年生は磯を観察し、そこから考えた各々の学習課題を追求しています。幸いにも、近くに町立しおさい博物館があり、一年間を通して子どもたちの磯観察や疑問解決への支援をお願いすることができています。更に四年生は昨年度から「アマモ場再生活動」のお手伝いもしています。本校の正面玄関には、昨年七月から『アマモ展示水槽』が葉山町アマモ協議会や神奈川県との協力により設置されました。これによりいつでも海中の様子を見ることができ、学習に深まりをもたらしています。

葉山町 豊かな学びに向かって

『葉山町教育総合プラン』解説 (11)

連載 各校の「特色ある教育」について

「地域に根ざした学校づくり」

葉山中学校長 栗飯原省悦

本校では、平成十三年度より「地域に根ざした学校づくり」という理念の下に、地域教育力の活用を図る行事を取り入れました。その一つが「ふれあい講座」と称したもので、毎年十月から十一月にかけて年一回実施しているものです。今年度で八回を数える本校の恒例行事になっています。

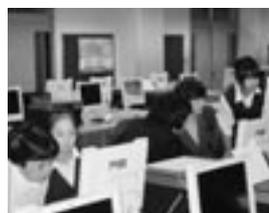
ねらいは、生徒達と地域の方々とのふれあいを通して、今の葉中生を知っていただくとともに、生徒達にとっては日頃体験できない講座内容を体験することによって、生涯学習の基礎となるべく学びの機会となれば、と願うものです。内容としては、地域の方々の中で、日頃のご趣味等で培われた芸や技に關けた方々を講師としてお招きし、生徒達にご指導



いただくものです。講座内容は、「インディアアカ」「合気道」「フラダンス」「手話」「書道」「お手玉教室」「フイリピン料理教室」「ゲーボール」「グラントゴルフ」「ふれあい音楽会」「将棋」「囲碁」「ヨガ教室」等々、計十八講座があります。生徒達は、これらの講座から一つを選択して受講します。当日は、午後の



ふれあい講座



町民パソコン教室

ひとときをゆったりとした雰囲気の中での生徒も真剣に取り組んでいます。受講終了後は、講師の方々へお礼の手紙を書き、後日それぞれの講師の方々へお送りし、感謝の意を伝えます。もう一つは、日頃お世話になっている地域の方々へ少しでも恩返しできることはないかということ、より密度の濃いふれあいを目指して、町民の方々と葉中有志生徒とで本校のパソコン教室にて「パソコン基礎講座」というものを六年前から実施しています。内容としては、毎月一回一時間程度、先生役の中学生と生徒役の地域の方がペアとなって、それぞれのレベルに応じて、ゆつくりじっくり何度でも繰り返し練習するという方法で学習しています。さらには、進路指導の一環として一年生の職場インタビューや二年生の職場体験活動など地域のご理解とご協力の下、毎年実施しています。今後も葉中生を健全育成という視点にたつて地域ぐるみで育てていきたいと思えます。

「人権移動教室」

上山口小学校にて

一月二十三日、上山口小学校にて、六年生を対象に「人権移動教室」が行われました。講師は、横浜人権センターの杉藤先生です。杉藤先生には今までも葉山町内の小学校で、人権移動教室を実施していただいています。

最初に、先生は子どもたちに「人権ってなんだろう」と問いかけました。「世界にはおよそ六十七億の人がいます。人は一人ひとり考え方がちがうので、六十七億通りの考え方がありま

す。でも、だれにきいても同じ答が返ってくる人間の願いが二つあります。それは何だと思えますか……それはね、『死にたくない』と『幸せになりたい』ということです。だから人権というのは『命と幸せを守るための



権利』のことです。」さらに先生は、その権利を守るためには、「相手の立場になって考えてみる」と、「自分」と、「自分

の考えを はっきりと

いう」ことだと子どもたちに話してくださいました。

その後、ビデオ「国境なき医師団」の視聴を通して、自分が幸せになるために人を大切にし、人の役に立つような生き方をしよう、というメッセージを先生は子どもたちに伝えてくださいました。

最後に子どもたちは一人ひとりの感想を発表しました。

- ・人は人がいなければ生きることができないことがわかった。
- ・人はお互いに支えあっている。
- ・まわりのひとのために、ボランティアをしようと思った。
- ・良い大人になりたい。
- ・人権の言葉の意味がわかった。
- ・困っている人に手をさしのべたい。
- ・(先生の経験談をきいて)人にはそんなやさしさがあるんだと思った。

等々

子どもたちは終始、静かに先生のお話を聞きながら、自分なりにこれからの自分の生き方について考えているようでした。



「ジュニアリーダー養成講座」

葉山のジュニアリーダーは、中一から二十代まで約五十名が登録しています。主な活動事業は、子ども会や青少年活動のサポートです。



そして今、これを目指す十二名の小学六年生が

「ジュニアリーダー養成講座」に参加しています。全七回の講習のうちすでに三回が終了しました。

第一回目は、レクリエーションや様々なゲームを教わりました。

第二回目は、キャンプ場での野外研修で、かまどを使つてのカレー作り体験です。先輩ジュニアリーダーから次のような言葉が飛びました。

「いい？ゲームをやるときはね、共に楽しむ気持ちが大事。ジュニアが沈んだ声だと、子どもたちも楽しくなくなっちゃう。ユーモアを持ち、ゲームと一緒に楽しもうという心がけ、これ

が大事だよ！」

第三回目は、人権研修で、アイメイト(盲導犬)と生活している音楽家で、パソコン講師でもある高橋雅枝さんの話でした。目の不自由な方はどう生活し、何を望んでいるのか。そんなことを教わりました。

本講習参加の子どもたちが誰に対しても心平らかに臨み、優しい気持ちで接して欲しい、そんな願いの講習でした。



ある先輩ジュニアがこう話してくれました、

「ぼくは、ジュニアリーダーになって本当によかったです。大学の面接で高校時代のことを聞かれたとき、堂々と自分のやってきた事を話すことができました。だからジュニアに感謝しているんです。これからは恩返しだと思って、活動を支えます。」

今回の講座に参加したジュニアのたまごたちが、この先輩の様に思ってくれたら…、そう願っています。

「磯遊びをしよう」 (手遊びの遊び方)

ナチュラリスト・角田 衛

カット絵・沢井 楓



たのしい たのしい いそあそびが はじまる ヨ～



カニさん 手にのせる OK OK こうかくるい



(5小節目と同じ)

さかなさん アミでとる



OK OK きょ りい

アメフラシ 手でつかむ OK OK かい りい



ヒトデさん ゆびでとる OK OK きょくひるい



遊び方

- 1小節・手拍子を4回打つ。
- 2小節・手のひらを下向きに広げ、浪のようにして4回上下させる。
- 3小節・右手、左手の順で手を上げバンザイの形リズムをとる。
- 4小節・手を腰にあて、踵でリズムをとる。
- 5小節・(カニ) 両手を前に出し両手親指を組み、他の指はカニの足に見立て動かす。
 - ・(さかな) 両手を合わせ、魚が泳ぐ様子を表現する。
 - ・(アメフラシ) 両手人指し指頭にし体全体でくねくねと表現する。
 - ・(ヒトデ) 両手を広げ、リズムに合わせて手首をまわす。
- 6小節・(カニ) 左手でカニの側にさしだしカニが手に乗るのを待つ動作。
 - ・(さかな) アミで捕る動作。
 - ・(アメフラシ) 手でそっとつかむ動作。
 - ・(ヒトデ) 手でそっとつかむ動作。
- 7小節・両手、頭の上で丸を作り左右に動かし、踵でリズムをとる。
- 8小節・5小節と同じ

葉山の海岸には、磯遊びが出来る磯がたくさん有り、これからの季節は昼間の潮がよく引き、楽しい磯遊びができます。自分で採ったカニや魚などを観察ケースに入れ、自分だけのミニ水族館を作ってみては如何でしょうか？この手遊び「磯遊びをしよう」を子どもたちへの導入とし、安全に十分配慮し、磯遊びを楽しんでいただけたらと思います。

(児童・幼児は保護者付き添いが必要です。)